

Nihon Shuwa (Japanese Sign Language)

Writing:

Learning how to write in NS

日本手話記述法

(si5s 方式)

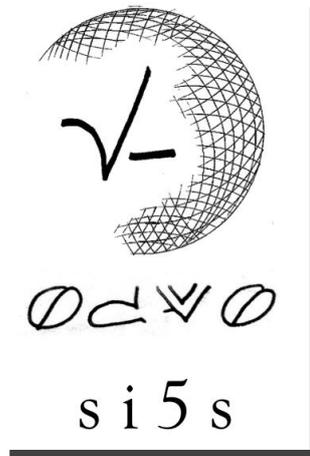


si5s writing guide for Nihon Shuwa Ver 1.1 Rev04

Cover pencil sketch illustration "Reading and writing, problem solved" by Chuck Baird

© 2009 Chuck Baird

www.chuckbaird.com



© 2010 si5s LLC

www.si5s.com

North Hollywood, California 91601

Digits and Digibet – Logo, Term and design - Patent pending

目次

はじめに	3
1: 手話綴りの手形辞:左手・右手	4
2: 区分表示符マーカ	7
3: 位置格マーク	9
4: 非手指動作標識	11
5: 軌跡と終点	14
6: 代名詞標識・時制・動詞	19
7: 文法	25
8: 練習	32

はじめに



日本手話を記述する

“Put NS In Writing”

このテキストは、左と右の手形辞(digit)を使った ASL の手話綴り digibet(si5s)による ASL を記述するためのガイドを日本手話仕様に翻訳したものです。このガイドでは、si5s による手話記述法のそれぞれの機能を紹介し、手話辞書の綴り順(digibetical)について提案します。Si5s には両手合わせて 70 の手形辞(digit)が用意されています。

左利き話者は右の手形辞(digit)より左の手形辞(digit)の方が記述しやすいでしょう。同様に、右利き話者は左の手形辞(digit)より右の手形辞(digit)の方が記述しやすいでしょう。書くことは内部思考や手話の生成の活動であり、書く人や読む人の視点で紙に記述することもできます。

さらに、読者は左利きまたは右利きの話者か、書く人を識別することができるなど、ユニークな視点を持つ記述システムです。

si5s は、<http://www.si5s.com> で詳細を確認することができます。本書は、si5s を利用した ASL 記述法を参考にした、日本手話記述法のガイドです。

si5s に関する問い合わせは、本家 si5s..writing@gmail.com までメールしてください。

なお、日本手話に関する問い合わせは、kuuro-tanada@mail.goo.ne.jp までメールしてください。

本家 Robert Arnold & Beth T. Nakatsui

翻訳 & 日本手話対応 Shigeru.Tanada

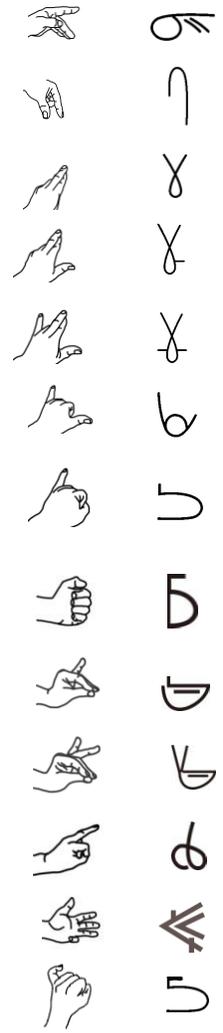
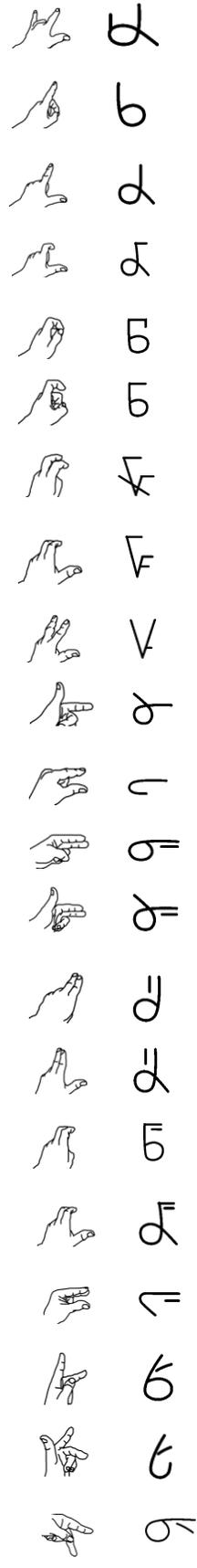
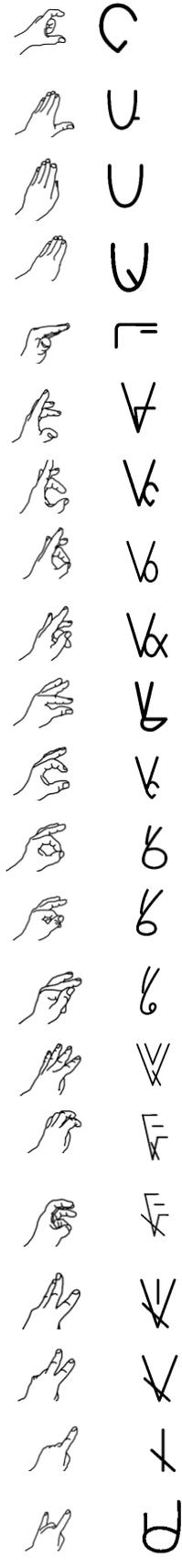
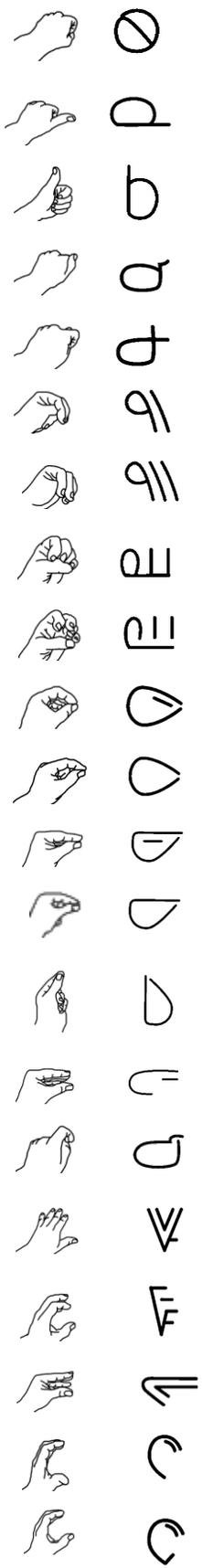
1

手話綴りの手形辞

(右手・左手)

The Digits of the Digibet: Left and Right Hand

左手



右手

 R
 C
 S
 X
 A
 B
 P
 U
 D
 T
 F
 G
 K
 J

 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R

 C
 C
 C
 C
 C
 C
 C
 C
 C
 C
 C
 C
 C
 C
 C
 C
 C
 C
 C
 C
 C
 C
 C

 O
 Q
 P
 R
 S
 T
 U
 V
 W
 X
 Y
 Z
 A
 B
 C
 D
 E
 F
 G
 H
 I
 J
 K

2

区分表示符マーカ

Diacritic Markers

Si5s には4つの区分表示符マーカーがあります。

半円 (Half arc) :		円 (Circle) :	
波 (Wavy line) :		ダブル (Double curve lines) :	

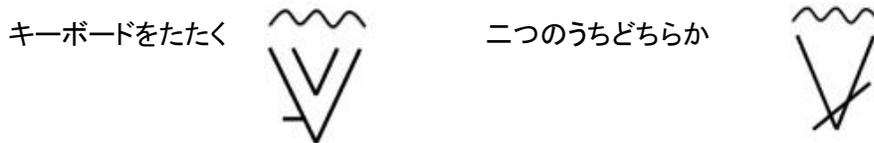
1. 半円(Half Arc):  = 手首を枢軸にした前後もしくは横への掌運動



2. 円(Circle):  = 手首でのローリングもしくは回転運動



3. 波(Wavy line):  = 動く指運動



4. ダブル(Double curve lines):  = 1~3つの指の運動、共に振る運動

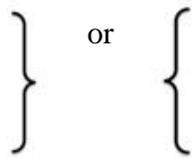


3

位置格マーク

Locative Marks

A: 頭部(Head) = 横顔



B: 頭部(Head) = 上方の横顔



C: 頭部(Head) = 下方の横顔



D: 頭部(Head) = 額

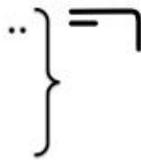


E: 頭部(Head) = 鼻



手話例: 邪魔

Note: 2つのドット (dot)
=位置をマークする部分を2
回タップする



F: 頭部(Head) = 後ろ



G: 頭部(Head) = 顎



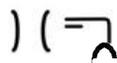
手話例: おかしい



H: 首(Neck)



手話例: クビ



I: 肩(Shoulder)



J: 胸(Chest)



K: 腕(Arm: 肘 elbow、手首 wrist を含む)



L: 腰(Waist)



M: 膝(Knee)



4

非手指動作標識

Non-manual Signals Indicators

1. 眉 (Eyebrows) :



A. WH 疑問
何か？どっちか？なぜ？



B. Yes-No 疑問
はい、いいえを問う時

2. 鼻 (The Nose) : 鼻にしわを寄せる (Crinkle on nose)



変なおい (odd smell) 、
合意表現 (expression of agreement)

3. 口 (The mouth) :



A. 口を閉じる



B. 口を開ける



C. 舌出し



D. 唇をすぼめる



E. 唇を外に出す



F. 歯を食いしばる



G. 沈痛な唇



H. 頬を膨らませる

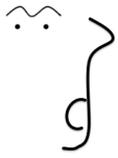


I. 頬を膨らませ、口を丸くする

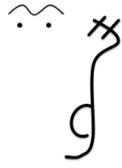


J. 口を丸くする

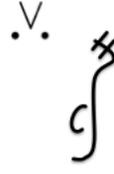
4. 眉・鼻・口の組み合わせ (**Combination of all three: eyebrow, nose & mouth**)



A: 驚きの表情



B: 素直に喜べない表情



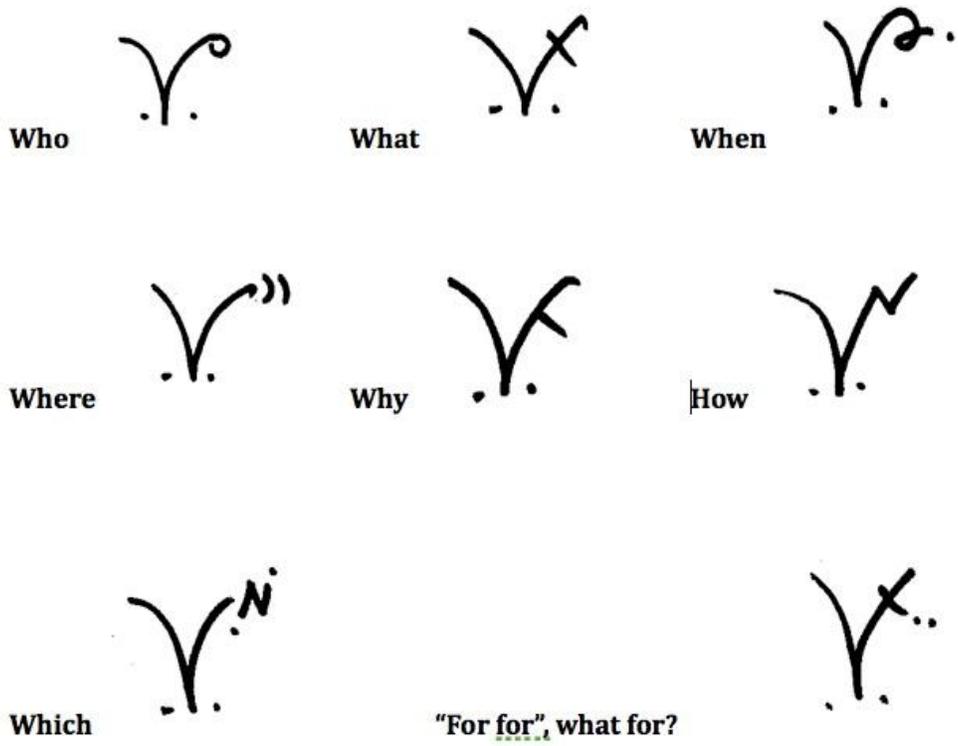
C: 本当? と確認



D: 確認 (嫌悪感)

WH 疑問における非手指動作辞 : 

アメリカ手話における WH 疑問の疑問詞



※日本手話における疑問詞については検討中 (2 0 1 2 . 1 2)

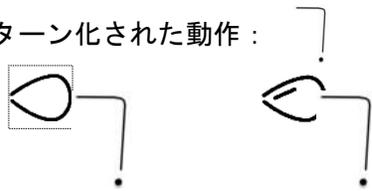
5

軌跡と終点

Movement Line & End-Point

- 1. 動詞 : 
- 2. 名詞 : 
- 3. 繰り返し行為 : 

4. パターン化された動作 :



A: 司会

B: パーセント (%)

5. いろいろな動作 : 乱流の中を通過する飛行機、雪の山道を走る車の動作

なお、B、C、Dのラインの最初に記述されている付加記号に注意すること

Type	動きの様態	記号
A:	凍った道をくねくね曲がる車の、横・水平運動	
B:	垂直運動 : 起伏のある道や水面下を進むクジラのひれのような運動	
C:	ガターを転がるボーリングのボールのような運動	
D:	ドームや丘の頂上を渡るような運動	

手話例 :

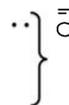


A. 地面を転がる葉。手首と垂直方向に注意。これは横に落ちている葉のCL位の円運動のことである。



B. 終わりの点の位置に車が“前進”している。なお、上向きの動きは前に進む意味である。

6. 位置マーカを2回突く ●●



A. 名前（左手の親指でタップする）

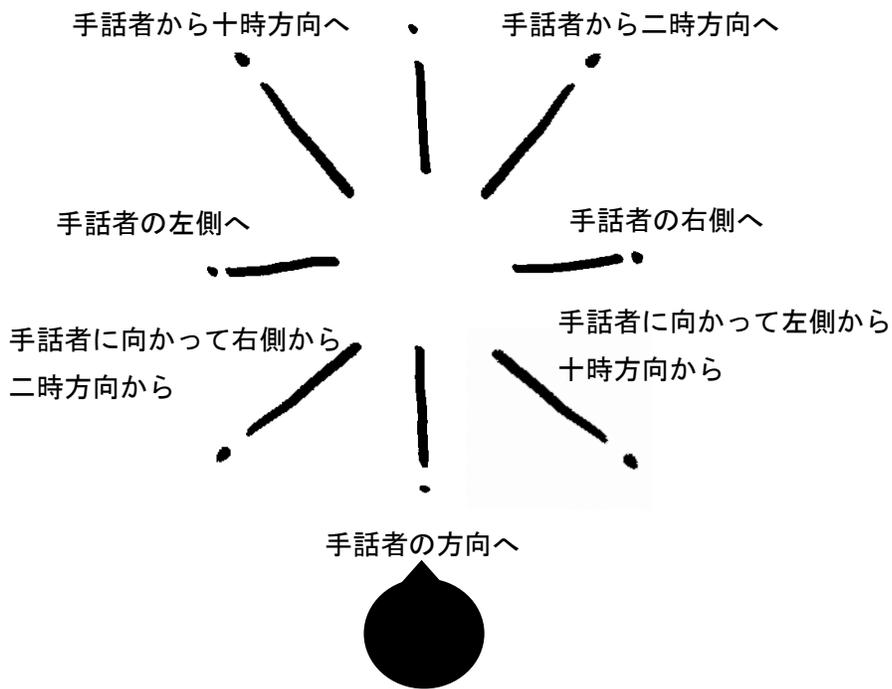
B. 名前（右手の親指でタップする）

C. 大阪

7. 方向性：手話者の視点

【水平運動】

手話者から離れる
（高速道路標識の「前進」を
意味する矢印をイメージ）



三人（三か所）に何かを渡す



相手（向こう）から三人（三か所）

【垂直方向の空間を参照】 (Vertical spatial reference)

水平線の形における付加記号は、垂直方向を示す軌跡を意味する。

- A. 上方向 (Up) B. 下方向 (Down) C. 話者から右上方向 (Upward right from the signer)



- D. 話者から左上方向 (Upward left from the signer) E. 話者から右下方向 (Downward right from the signer) F. 話者から左下方向 (Downward left from the signer)



【横顔の POV (point of view : 視点)】

1. 上 2. 斜め上 (見上げようとする)



3. まっすぐ 4. 斜め下 (下を見ようとする)

5. 下

【話者の POV (point of view : 視点)】

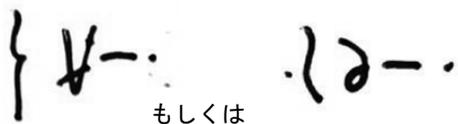
3. 左向こう 4. 右向こう



2. 左 5. 右
1. 左の傍 6. 右の傍

【手話例】

A. 見る



V字型

B. 見つめる



C. 見回る



D. 周囲を見回す



6

代名詞標識

時制・動詞

Pronouns Indicator, Time, Verb

【代名詞】(ASL)

A. 君 (You)

B. 私 (Me)

C. それ (何か、場所、部屋にいない人など)

D. 男、彼、そこにいる男 (ASL 表現)

E. 女、彼女、そこにいる女 (ASL 表現)

Note: D, E はアメリカ手話の性別表現に「それ」を加えている。日本手話の場合は当てはまらないので、別の表記を考案する必要がある。

F. 彼ら (複数)

G. あなた方二人

H. 3人 (ASL 表現)

I. 人

J. 二人 (Two Person : ASL 表現)

K. 三人 (Three Person : ASL 表現)

L. 四足動物 (ASL 表現)

【代名詞】（日本手話）

- A. 君 B. 私 C. それ（何か、場所、部屋にいない人など）

h w i

- D. 彼 E. 彼女

d c

- F. わたしたち G. あなたたち H. みんな

w. a. h. v. / u.
もしくは

- I. 一人 J. 二人 K. 三人

z. / z. z. / z. z. / z.

- L. 四人 M. 五人

z. / z. z. / z.

【時のあらわし方】 (Time Referents) (ASL 表現の記述)

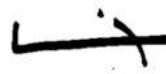
A. Time (時)



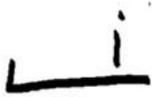
B. Long (長い)



C. Morning (朝)



D. Noon (正午)



E. Night (夜)



F. All day (一日中)



G. All night (オールナイト)



H. All day and night, two days (二日間)



I. Yesterday (昨日)



J. Tomorrow (明日)



K. Two days later (明日後)



L. Two days ago (一昨日)



【時のあらわし方】 (Time Referents) (日本手話)

A. 時刻・時間

もしくは

B. 朝

もしくは もしくは

C. 昼

もしくは

D. 夕方

もしくは もしくは

E. 夜

F. 深夜

G. 夜中・徹夜

H. 今日

I. 明日

J. 明後日

K. 昨日

L. 一昨日

M. 一日

もしくは

N. 二日

O. 三日

P. 四日

Q. 七日・一週間

もしくは

R. 二週間

S. 三週間

【動詞】 (Verb) (ASL の記述)

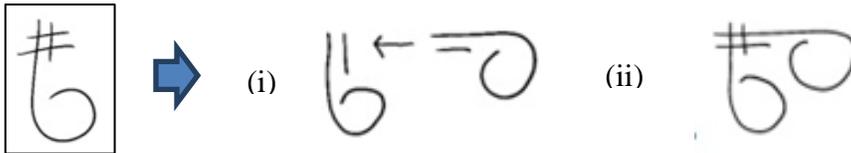
1. 行く (Go-to : ASL 表現)

2. 来る (Come-to : ASL 表現)

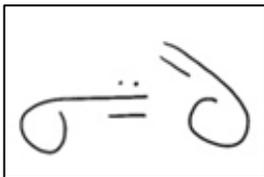


【名前】 (Name) (ASL の記述)

A. 「H」と「U」のそれぞれの手形辞は、「Name (名前)」の綴りを作成するとき同時に置かれる。



B. 以下の綴りは、「name (名前)」や「chair (椅子)」を意味する。



【モーフィング辞 (名詞や動詞を手話する間に表出される中間的な手形のこと)】

Note: 方向を示す終点が複数あることに注意。

ASL 表現における記述例 :

AND

明かりがつく

フラッシュライト、点滅



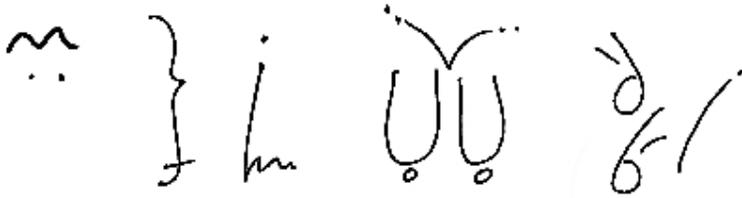
7

文法

ASL の文法の記述方法について解説する。日本手話文法については、作業中。(2012.02)

【NMS の記述】

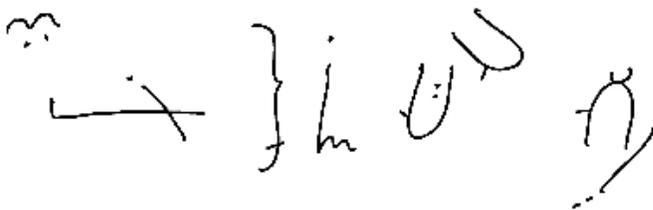
A. SHE BOOK BORROW FROM ME/ME LOAN.



翻訳：彼女は私の本を借りた。(Note 自身から ‘loan (借りる)’ という借りるという屈折手話)

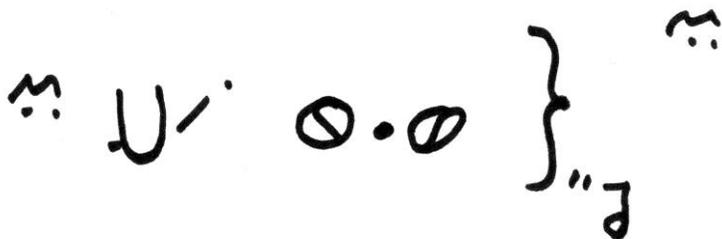
NOTE: 話題化 NMS として yes/no NMS は文の先頭に記述する。話題化 NMS や yes/no NMS という文法機能はどこにでも記述することができる。

B. NOW MORNING SHE SCHOOL LATE.



翻訳：今朝、彼女は学校に遅れた。

C. YOUR CAR RED?



翻訳：君の車は赤ですか。

記述例 (Writing examples)

How to write a sign

Note: 手話のサンプルはすべて ASL。日本手話の記述例は作業中。(2012. 12)

1. In three parts

手話の記述は、以下の順で2、3つのシンボルで構成される。
位置—手形辞—動き (Locative - digit - movement.)

手話単語を構成するための3つのシンボルによる配置の例

A. Future, ahead of present (将来)



位置 (顔の部分)、手形辞とその後に続く動きのシンボルに注意。

B. Tree (木)



'tree' の基本は位置 (腕や肘) のシンボル、手形辞の頂上、手形辞の右上の動き (揺れ) のシンボルで構成される。

C. 右手 (利き手) で名前の 'E' でおでこを2回たたく



学校へ行く (右が利き手の場合)



学校へ行く (左が利き手の場合)



2. In two parts

サインがニュートラルな空間で生産されている場合、二つのシンボル（手形辞や動きのシンボル）が必要になる。

A. Chicago (シカゴ)



これは手形辞や動きのシンボルで構成されたニュートラルな空間のサインです。

3. To write a sentence

A. NMS の記述—始まり、途中、終わり

文法の階調は手話の前後に NMS シンボルを記述することによって確立される。



ASL: (Yes/No) NMS YOU NAME BOB YOU (Y/N)

翻訳: 君はボブ?

NMS シンボルは、レトリックや話題化 NMS のような表現力豊かな階調の変化を文章内の特定の場所に記述することができる。



ASL: Topical NMS (IX) MAN WHAT NAME

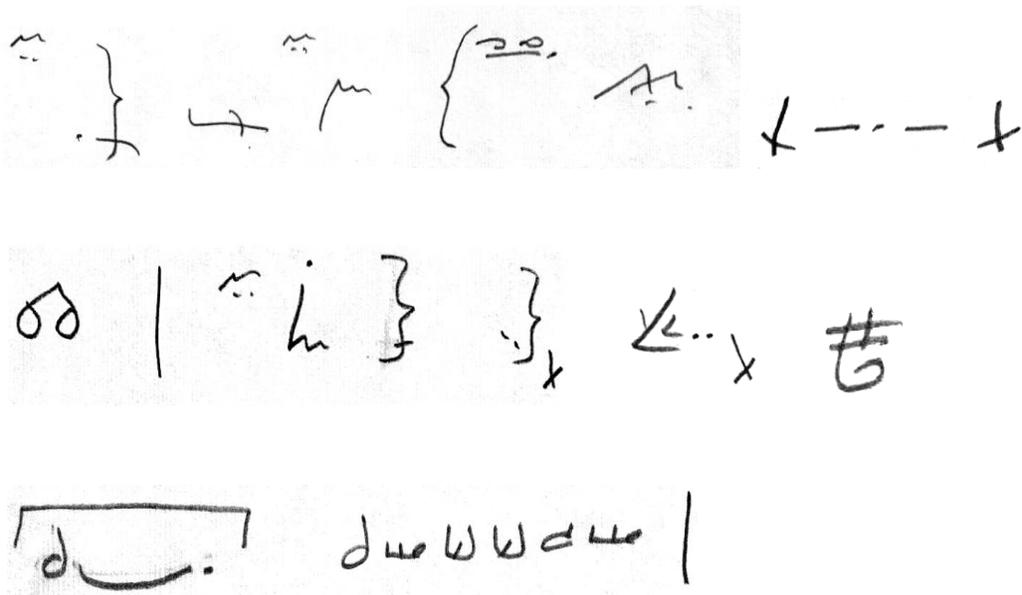
翻訳: あそこにいる人（もしくはこの人）の名前は?



ASL: (WH NMS) YOU GO-TO WHERE

翻訳: どこへ行くの?

4. Writing signs in a sentence: example



ASL: YESTERDAY MORNING ME GALLAUDET GO-TO MEET FRIEND. SHE DEAF, FRESHMAN, NAME (NAME SIGN 'D' ACROSS CHEST) DEBBIE.

翻訳: 昨日の朝、友人に会いにギャローデットへ行った。彼女はデビーといい、ろうで新入生だった。

5. Digit pairs

‘person’ の手形辞は手話の手形辞の後に記述する。この手形辞のペアは職業人を表す。



A. 著者: 書く+人



B. 先生: 教える+人



C. 学生: 学ぶ + 人



D. ライダー: 座る+人+乗る (車、バス、飛行機、バイク、馬以外に)

E. パイロット：飛行機＋人（～へ飛ぶ（1回のみ表示）＋人でも可）

F. 運転手：車＋人

6. Digibet pairs plural

二人を意味する「人」の手形辞を使う。（3人もしくはそれ以上の場合、マークを2つ使う。）

G. 二人の学生

H. 学生たち

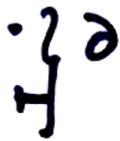
日本手話における非手指動作 (NMM : Non Manual Marker)

日本手話の文法を決定する要素の中にNMMが含まれる。ここではモダリティにおけるNMMの記述例について述べる。

A. 思う (基本)



B. 思う (確信)



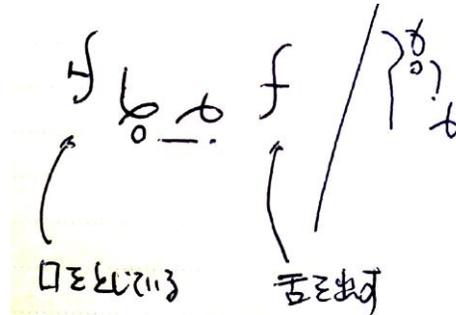
唇が引き締まっている

C. 思う (徴候性判断)



唇を突き出している

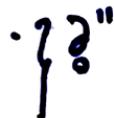
D. 思う (推量)



E. 考える (基本)

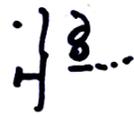


F. 考えている



人差し指をねじ込む

G. 考え込む



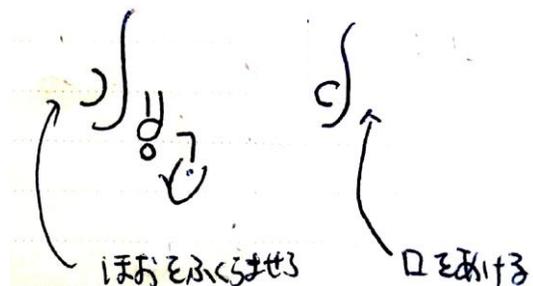
唇が引き締まっている

人差し指をねじ込む

H. ~することに決めている

~することになっていた

今後も~するに違いない



8

練習

1. 左の英単語と右の手形辞綴りが一致するものを選んでください。(解答は次のページ)

- | | | |
|------------|-----|--|
| A. School | 1. | |
| B. Student | 2. | |
| C. Teacher | 3. | |
| D. Me | 4. | |
| E. You | 5. | |
| F. You all | 6. | |
| G. Go-to | 7. | |
| H. Come-to | 8. | |
| I. Name | 9. | |
| J. Pilot | 10. | |
| K. Driver | | |

NOTES

Answer Key

A - 12

G - 11

M - 1

B - 10

H - 5

C - 8

I - 13

D - 9

J - 6

E - 3

K - 4